



概要

この章では、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームに関する情報を含めて、自律モードとコントローラモードについて説明します。ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [はじめに \(1 ページ\)](#)
- [Cisco 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームでサポートされるモジュールと機能 \(3 ページ\)](#)

はじめに

Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、サービスの高速化、マルチレイヤセキュリティ、クラウドネイティブの俊敏性、エッジでのインテリジェンスを実現し、クラウドへの移行を促進するために設計された、クラス最高レベルの 5G 対応クラウド エッジプラットフォームです。

Cisco IOS XE SD-WAN ソフトウェアを搭載した Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームを利用すれば、クラウド対応のセキュアな Cisco SD-WAN ソリューションをブランチに導入できます。Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、高性能の統合 SD-WAN サービスに加えて、クラウドまたはオンプレミスのいずれでもセキュリティサービスおよびネットワークサービスを提供できる柔軟性を備えています。また、高密度の WAN ポートと冗長電源にも対応しています。Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームには、モジュール密度の高いものから低いものまで各種インターフェイスオプションが用意されています。インターフェイスは、既存の WAN、LAN、LTE、音声、コンピューティングモジュールと下位互換性があります。Catalyst 8500 シリーズ プラットフォームは、Cisco IOS XE、完全にプログラム可能なソフトウェアアーキテクチャ、API をベースに大規模な自動化を促進し、ワークロードをクラウドに移行しながらゼロタッチ IT を実現します。また、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、Trustworthy ソリューション 2.0 インフラストラクチャも搭載しているため、整合性をチェックして脅威を修復することで、脅威や脆弱性からプラットフォームを保護します。

Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、中規模～大規模のエンタープライズ ブランチ オフィスで統合 SD-WAN サービスを利用し、高い WAN IPSec パフォーマンスを実現するのに適しています。

Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームは、次のような使用例を対象としています。

- エンタープライズ ブランチ オフィス、マネージドサービス プロバイダー CPE、DIA 用インターネットゲートウェイ、SD-WAN を搭載した SASE クラウドプラットフォーム
- 次世代のソフトウェア定義ネットワーク (SD) ブランチ ルーティング プラットフォーム

このドキュメントでは、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジプラットフォームに固有のソフトウェア機能の概要を示します。Cisco IOS XE および Cisco IOS XE の SD-WAN 機能には、それぞれ自律モードとコントローラ実行モードでアクセスできます。自律モードはデバイスのデフォルトモードで、Cisco IOS XE 機能が含まれています。Cisco IOS XE SD-WAN 機能にアクセスするには、コントローラモードに切り替えます。既存のプラグアンドプレイ ワークフローを使用して、デバイスのモードを決定できます。

universalk9 イメージを使用して、Cisco IOS XE SD-WAN と Cisco IOS XE の両方を Cisco IOS XE プラットフォームに展開できます。Cisco IOS XE Amsterdam 17.3 は、SD-WAN と非 SD-WAN の両方の機能と展開のシームレスなアップグレードに役立ちます。

Cisco CLI を使用したコントローラモードと自律モードの切り替え

コントローラモードと自律モードを切り替えるには、特権 EXEC モードで **controller-mode** コマンドを使用します。

controller-mode disable コマンドは、デバイスを自律モードに切り替えます。

Device# **controller-mode disable**

controller-mode enable コマンドは、デバイスをコントローラモードに切り替えます。

Device# **controller-mode enable**



(注) デバイスを自律モードからコントローラモードに切り替えると、スタートアップコンフィギュレーションと NVRAM (証明書) の情報が消去されます。このアクションは **write erase** と同じです。

デバイスをコントローラモードから自律モードに切り替えると、すべての Yang ベースの設定が保持され、元のコントローラモードに切り替えた場合に再利用できます。モードをコントローラから自律に切り替える場合は、デバイスの設定が自動ブートに設定されている必要があります。

ブートストラップコンフィギュレーションファイルを使用したコントローラモードと自律モードの切り替え

すでに Cisco IOS XE 非 SD-WAN イメージを実行しているデバイスの場合、Cisco IOS XE リリース 17.3.2 以降のイメージをインストールすると、デバイスが自律モードで起動します。

すでに Cisco IOS XE SD-WAN イメージを実行しているデバイスの場合、Cisco IOS XE リリース 17.3.1r 以降のイメージをインストールすると、デバイスがコントローラモードで起動します。

モードを切り替えるには、**controller-mode enable** コマンドを使用して自律モードからコントローラモードに切り替え、**controller-mode disable** コマンドを使用してコントローラモードから自律モードに切り替えます。デバイスが起動すると、コンフィギュレーションファイル内の設定が適用されます。

デバイスがコントローラモードで起動すると、コンフィギュレーションファイル内の設定が適用されます。

単一の universalk9 イメージを使用して、サポートされているすべてのデバイスに Cisco IOS XE SD-WAN および Cisco IOS XE 機能を展開する方法の詳細については、『[Install and Deploy Cisco IOS XE and Cisco IOS XE SD-WAN Functionality on Edge Platforms](#)』を参照してください。

Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームには、次のモデルがあります。

- C8300-2N2S-4T2X
- C8300-2N2S-6T
- C8300-1N1S-4T2X
- C8300-1N1S-6T
- C8200-1N-4T
- C8200L-1N-4T

Cisco 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームでサポートされるモジュールと機能

次の表に、Cisco Catalyst 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームでサポートされるモジュールと機能を示します。

表 1: Cisco 8300 および 8200 シリーズ エッジ プラットフォームでサポートされるモジュールと機能

機能	Cisco 8300	Cisco 8200	Cisco 8200L
サービス プレーン アプリケーション (UTD、AppQoE、および TcpOpt)	対応	非対応	非対応
CPU コア	8 コア C8300-2N2S-4T2X は 12 コアをサポート	8 コア	4 コア

機能	Cisco 8300	Cisco 8200	Cisco 8200L
CPU メモリ	8 G	8 G	4 G
バックプレーンサポ ート	10 G	10 G	1 G

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。